

りっとう議会だより



No.205

2023.2.1 発行

大きな栗の木の下で



特集	自宅にいても議会がわかる方法	P.2
議案	12月定例会	P.4
委員会	常任委員会ピックアップ	P.5
代表質問	各会派が所信表明について聴きました	P.7
個人質問	ここが聴きたい 市政を問う	P.10

議会がわかる方法

特集

定例会

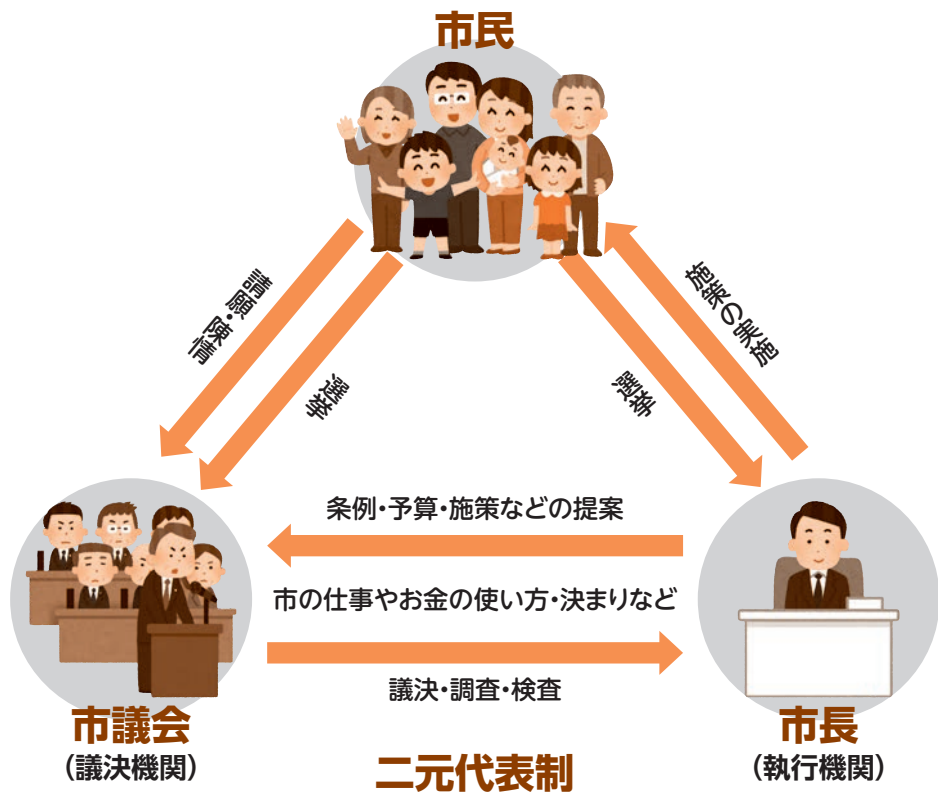
委員会

代表質問

個人質問

委員会活動レポート

意見募集



議会での審議内容や結果を広く伝える広報活動は、市民生活に直接関係する施策や事業がどのように決定されたかを市民に伝えることとなり、議会の説明責任を果たすことにもつながります。

また、議会活動などを通じて市民とのより身近な出来事・地域課題等を発信することで、市民と議会をつなぐ重要な役割を担った情報媒体になります。

情報発信への道しるべ!

昭和47年以来続いてきた栗東市議会「議会だより」は令和3年11月、200号の節目をもってリニューアル。サブタイトルに「大きな栗の木の下で」と命名し、「市民にわかりやすく、手に取ってもらえる広報紙」としての思いで、議会としての発信をしてきました。そのひとつに特集ページを設け、よりタイムリーで分かりやすい記事を掲載することに主眼を置き、取り組みを進めています。



【これまでの特集記事掲載】

- ◆ 200号(2021年11月1日号) 『りっとう議会だよりをリニューアル』
- ◆ 201号(2022年 2月1日号) 『魅力ある議会を目指して』
- ◆ 202号(2022年 5月1日号) 『3月定例会の25日間』
- ◆ 203号(2022年 8月1日号) 『会派って何?』
- ◆ 204号(2022年11月1日号) 『委員会について紹介します』

今回の特集ページで、さらに議会を知っていただくために、自宅からでも議会の状況を知ることができるツールをご紹介します。

ご存じですか？

自宅にいても



どうすれば
知ることが
できるんだろう？



会議録検索



今までの本会議の会議録を栗東市議会ホームページから検索、閲覧することができます。



議会だより

2月、5月、8月、11月に発行しています。本会議での議案の審議結果、議員が要約して執筆した質問や答弁、また注目すべき議題などとともに、特集を交えながら読むことができます。



ホームページ



市議会について、様々な情報を検索することができ、わかりやすくまとまった内容を見ることができます。



※掲載している二次元コードを読み取るか、栗東市議会ホームページ(<http://www.city.ritto.lg.jp/shigikai/index.html>)をご覧ください。



読んで・見て
調べて・聞いて

本会議録画配信



YouTubeにて議会中継を録画配信しています。また、過去の映像から最新の映像までを見ることができます。



議会傍聴

本会議・各委員会等の傍聴ができます。議場の傍聴席はバリアフリー化により、車いすでもお越しいただけます。



車いす用傍聴席▲

※傍聴の詳細は14ページをご覧ください。

12月定例会

審議した議案・請願書・意見書など

	件名	採決結果
条例	職員の高齢者部分休業に関する条例 (高齢期の多様な働き方のニーズに対応するための制度を整備するため条例を制定)	可決・全
	職員の定年等に関する条例等 (職員の定年を60歳から65歳に引き上げるため関係条例の改正等)	可決・全
条例(一部改正)	市長、副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等、勤務時間その他の勤務条件に関する条例 (人事院勧告に伴う期末手当支給月額の改正)	可決・別表
	職員の給与に関する条例 (人事院勧告に伴う給料月額、勤勉手当の支給月額の改正)	可決・全

	件名	採決結果
その他	市道路線の変更について (小柿一区内11号線、小平井八坂8号線、小平井八坂9号線)	可決・全
	市道路線の認定について (出庭木戸呂南線、小平井区内12号線)	可決・全
意見書	「健康保険証の原則廃止」の見直しを求める意見書	否決・別表
	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために検査・医療体制の抜本的強化を求める意見書	否決・別表
請願書	公立の幼稚園・小中学校の週5日の完全給食を求める請願	採択・全
	緊急事態条項の創設に反対する意見書の提出を求める請願書	不採択・別表

令和4年度 一般会計 補正予算 10月臨時会				
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計(第8号)	1億9,540万円(増額)	273億3,954万8千円	商工費の増額	可決・別表

令和4年度 一般会計・特別会計 補正予算 12月定例会					
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果	
一般会計(第9号)	5億2,817万4千円(増額)	278億6,772万2千円	民生費の増額等	可決・全	
一般会計(第10号)	1億8,099万6千円(増額)	280億4,871万8千円	衛生費の増額	可決・全	
国民健康保険特別会計(第2号)	1億4,610万5千円(増額)	54億5,166万4千円	保険給付費等の増額	可決・全	
後期高齢者医療特別会計(第2号)	928万7千円(減額)	7億3,374万1千円	総務費等の減額	可決・全	
介護保険特別会計(第2号)	3,063万5千円(増額)	42億1,837万7千円	諸支出金の増額等	可決・全	
大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計(第2号)	39万4千円(増額)	6,325万5千円	土木費の増額	可決・全	
水道事業会計(第2号)	450万4千円(減額)	26億1,154万4千円	営業費用の減額等	可決・全	
公共下水道事業会計(第2号)	収入	130万円(減額)	26億8,295万2千円	営業外収益の減額 営業費用の減額等	可決・全
	支出	528万5千円(減額)	33億2,377万8千円		
農業集落排水事業特別会計(第2号)	11万9千円(増額)	3,669万円	農林水産業費の増額	可決・全	

※採決結果に「別表」とある議案の採決結果については、賛否の公表をご覧ください。「全」とある議案は全員一致でしたので、表への記載は省略しています。

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(多=賛成多数、少=賛成少数 ○…賛成、●…反対)

案件	会派名 議員名	賛成の数	新政会						公明		究理		ネットワーク			共産党			
			藤田 啓仁	上田 忠博	三木 敏嗣	中野 光一	里内 英幸	梶原 美保	西田 聡	野々村照美	川嶋 恵	片岡 勝哉	武村 賞	田村 隆光	林 好男	中村 昌司	上石田昌子	青木 千尋	伊吹 裕
予算	一般会計補正予算(第8号)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	○	○	
条例	市長、副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等、勤務時間その他の勤務条件に関する条例	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
意見書	「健康保険証の原則廃止」の見直しを求める意見書	少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために検査・医療体制の抜本的強化を求める意見書	少	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願書	緊急事態条項の創設に反対する意見書の提出を求める請願書	少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	○		

* 議長(田中英樹議員)は採決に加わらない

* 会派名の正式名称は次の通り 公明(公明栗東)、究理(究理の会)、ネットワーク(栗東市民ネットワーク)、共産党(日本共産党栗東市議団)

* 上石田元議員については10月23日をもって自動失職されたため、上記のとおり掲載しています。

常任委員会ピックアップ

～12月定例会での審査内容の一部概要をお伝えします～



※委員長報告を映像でご覧いただくことができます。

予算常任委員会

老朽化した環境センターは十分な点検が必要

◆ 市環境センターは一般廃棄物を安全かつ衛生的に処理できる施設として、栗東市の公衆衛生を支えてきました。当施設も平成15年3月からの稼働以来19年が経過し、近年は老朽化が進んでいます。

問 センター自体の老朽化の中で外壁改修工事について、年度当初の計画か、事前点検で分かったことなのか。

答 毎年、必ず台風後の点検をしており、昨年度は異常なかったが、今年度の台風後の点検で分かったことである。

問 センターは車や市民の出入りもあることから、十分な点検が必要である。できれば当初予算の中で慎重な検討をお願いしたい。

答 施設等の点検は、日常的に実施している。今後も危険箇所が見つかり次第、できる限り早急に、当初予算等での対応を考えていきたい。

◆ 「栗東」の「栗」をモチーフにした栗東市のマスコットキャラクター「くりちゃん」は、まじの魅力を発信するために、日々活動しています。

問 PR活動業務委託料で減額となっているが、コロナ禍によるPR活動への影響は。

答 年間50回程度の出演の中で、上半期はコロナの影響で9回の出勤回数であった。10月以降はイベントも徐々に再開され、11月現在で30回の出勤になった。今後も積極的にPR活動を行っていく。



▲「くりちゃん」のイベント出演の様子

総務常任委員会

次世代への知識・技術・経験などの継承を目的にした、市職員の定年に関する条例改正等を審査

◆市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について、審査しました。

問 定年延長後、現在に比べ、人件費全体の総額は増えるのか。

答 現段階では、定年延長を希望する職員が未定である。明確な数字は出せないが、増えることは確実にあり、それを踏まえた予算を設ける。

問 現在、職員の定年は60歳であるが、事務補助員、土木作業員、給食調理員の定年は63歳になっている。この3年の差の理由は。

答 当時は、現業職の職責を考え、63歳にした。今回は、定年をすべて65歳にあわせた。

問 定年延長の目的は、改正法の趣旨にもあるように「能力と意欲のある高齢期の職員を最大限活用しつつ、次の世代にその知識・技術・経験などを継承していくこと」である。このような観点から3年の差が設けられていたと思うが、なぜ一律に定年を65歳とするのか。改正



法の趣旨から考えると、引き続き3年の差を設けるべきであると考えるが。

答 当時は、現業職の土木作業員や給食調理員の採用があった。しかし、現在は、土木作業員の採用はなく、給食調理は委託となっていることから、本市の現状にあわせて一律65歳とした。

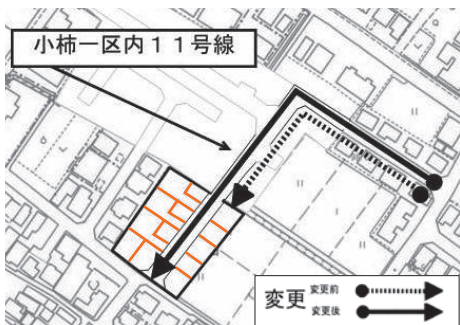
環境建設常任委員会

市道路線の変更および認定について

◆開発に伴う市道5路線の変更および認定について審査しました。

問 小栢1区内11号線の延伸は、変更前と変更後の境が今後十字路になる可能性はないか。また、仮に十字路になると直角に曲がる交差点となる。後に隅切りが必要となった時、建物が建っていると難しいと思われるが状況は。

答 道沿いに住宅が建築されることになるので、今後新たに市道ができる場合は交差点にはならない。その場合は行き止まり道路になる。



▲小栢地先

問 認定2路線とも袋小路になっている。出庭木戸呂南線には避難通路が見受けられるが、先に建築物が

有るように見える。また、小平井区内12号線については避難通路が無い。それぞれ避難通路は確保できているのか。

答 出庭地先は避難通路先に家が建っているように見えるが通路は確保できている。また、小平井区内についても、突き当りが公共用地であることから確保できている。

問 避難通路が民地につながっている箇所は、新たに開発等があった場合にも、避難通路が確保できるよう取り組んでいただきたい。

答 避難通路は水路や里道などにつながるよう出来ており、民地につながることはない。



▲出庭地先

*隅切り
交差点などにおいて、通行のために曲がり角を通りやすくしたり、見通しの確保を目的とするもの。

継続審査の請願書を審査

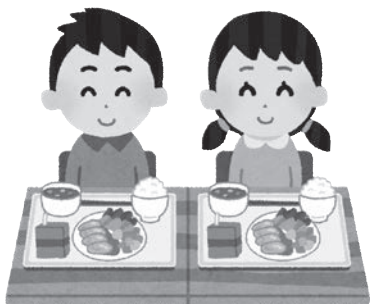
◆6月定例会(9月定例会同様)で継続審査となっていた「公立の幼稚園・小中学校の週5日の完全給食を求める請願」を審査しました。

継続審査の間、現状把握と課題整理のために、市に申し付けていた「学校給食共同調理場運営委員会」の意見聴取「保護者、子ども、教員へのアンケート等」による意見聴取「給食費や学校給食共同調理場の運営に関する精査」を行うことについて、市から報告を受けました。

意 食育の観点、子どもの健やかな成長を担保するためにも週5日給食に向けた取り組みが必要である。
 意 子どもの意見として、弁当を楽しみにしていることも尊重しなければならない。弁当の良いところを学校教育の中で取り組みをしていかなければならない。

◆次の要望を協議しました。
 ・食の安全を守るため、小学校にてゲノム編集トマト苗を受け取らないことを求める陳情

・不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択に関する要望書
 ・学童保育事業(放課後児童健全育成事業)の推進についての要望
 ・こんぜの里周辺施設に関する要望



代表質問

12月12日に、5会派が質問しました。
 質問と答弁の要旨をお知らせいたします。

二次元コードで質問の録画映像が見られます▶



なお、紙面の都合上掲載を省略している質問も含め、YouTubeにて本会議の様子を視聴できますので、ぜひご覧ください。

○は代表者 ●は質問者

○●野々村照美 川嶋 恵

公 明 栗 東

質問事項 ①所信表明のはじめに ②地域の宝を活かし、市民の憩いの場を創出しつつ、交流人口倍増に挑戦 ③一人ひとりの児童・生徒が輝ける魅力ある学校づくり

① 就任後の財政健全化をどのように進められるのか。

答 本市の持つ地域ポテンシャルを活かし、企業立地の推進で、より積極的な財源確保策を講じていく必要がある。

新たな収入を確保することで安易に基金の取り崩しや起債の発行に依存しないで攻めの市政運営を推進していく。

② 全世代が集える「栗東健康運動公園」の構想は。

答 「馬のまち」として計画的・効果的なまちづくりを見据え、福祉、教育、商業・観光、環境、防災の5つの取り組みを基本方針に、市民の憩いの場づくりに向け、「市民とつくる公園」として交流・賑わい・癒しの空間として整備を目指し、交流人口増につなげたいと考えている。

③ 「出産・子育て応援交付金」の拡充を図られるが、子育て世代が安心できる取り組みは。

答 経済的支援の実施だけで

はなく、妊娠前から低年齢期までの子育て家庭に寄り添い、面談や情報発信等を通して必要な支援を行う伴走型相談支援体制の構築といった組織横断的な取り組みが求められていることから、今後は、子ども家庭センターの設置も含め、庁内での組織編成のあり方について検討・協議を行っている。概ね令和6年度以降を目途に進めていきたいと考えている。



栗東健康運動公園 建設予定地地域 (地図出典: Google)

○は代表者 ●は質問者

○藤田啓仁 上田忠博 田中英樹
●三木敏嗣 中野光一 里内英幸 梶原美保 西田 聡

新 政 会

特集

定例会

委員会

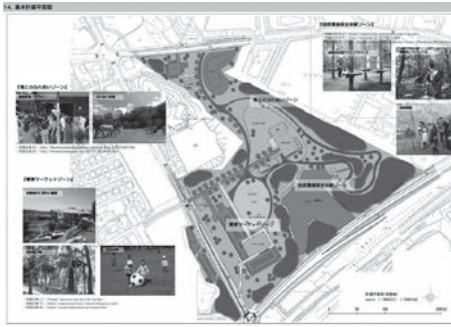
代表質問

個人質問

委員会活動レポート

意見募集

- 質問事項 ①「地域の宝を活かし、市民の憩いの場を創出しつつ、交流人口倍増に挑戦」について
 ②「子どもは地域の宝、子育てするなら栗東で」について



▲栗東健康運動公園基本計画平面図

①健康運動公園の「市民の公園」としての考えを問う。

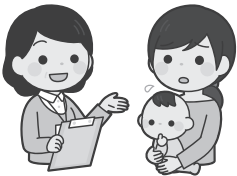
答 健康運動公園は、芝生広場や飲食、物販ができるにぎわいの場を設けるなど、市民が多様な交流や日常的な憩いを楽しめる場として公園整備を考えている。その中で、地域資源を活かした馬と触れ合える場を設けるなど、本市ならではの公園をつくることにより、市外からの利用者も呼び込むことができ、交流人口増に繋げる。

②ひとり親家庭が、一人で育児をし、身近に相談者もなく、行き詰ることへの支援策等を問う。

答 育児に行き詰まらないよう、保健師や助産師、子育て相談員や家庭児童相談員が相談支援にあたっていることを広く周知すると共に、保護者に伴走した子育て支援策を図る。

②「本市ならではの」子育て支援策を問う。

答 乳幼児へのおむつ助成制度を早期に取り組み、他には、実態把握をし、課題を整理しながら関係課で協議し、概ね令和6年度以降を目途に進める。



○は代表者 ●は質問者

○●田村隆光 中村昌司 林 好男

栗東市民ネットワーク

- 質問事項 ①ホースパーク構想 ②投票率の向上 ③企業事業資金貸付金への対応

①ホースパーク設置について

事業費や事業内容、開園時期は、また近隣住民への説明と了解は取れているのか。

答 事業費は約24億円で国およびJRAの寄付を見込んでいます。「馬のまち」にふさわしい引退馬を活用したランドマーク的な施設整備を目指し令和12年開園を目指す。説明は、議会を含め隣接地域へ丁寧に進めていく。

②各種選挙の投票率向上への考えは。

答 選挙は候補者がそれぞれの政策等を訴える重要な機会であり、投票結果は政治の在り方を大きく左右する。栗東市長選挙より栗東駅前期日前投票所の利便性も向上したが引き続き投票率向上に向け投票傾向を分析し、エビデンスに基づいた啓発等を行うっていく必要があると考える。

③いまだに情報公開請求や住民監査請求等が出される

ている。残る2社に対する公文書管理や返済計画の確認、企業経営の実態等の把握など貸付金回収に向けた責任は新市長に引き継がれた。対応への考えは。

答 企業事業資金貸付金総括(続編)の通り、今日までの反省を踏まえ適切な文書管理を徹底する。残る2社の債権管理については、経営状況等の情報収集を行い貸付金が確実に償還されるよう万全を尽くす。



○は代表者 ●は質問者

○●青木千尋 伊吹 裕

日本共産党栗東市議団

- 質問事項** ①平和の施策 ②旧統一協会 ③介護保険改悪 ④マイナンバーカードと健康保険証の一体化
 ⑤子育て世代の流出と公園の整備 ⑥保育所は公立の堅持を ⑦学校給食の完全5日制
 ⑧行政のスリム化 ⑨同和対策事業を一般施策に

①核兵器禁止条約の批准を国に働きかけるべき。所見は。

答 国で検討されるもの。

②旧統一協会との政治家、自治体の関与を問う。

答 政教分離の観点から中立的な立場で対応する。

③政府の改定は負担増と給付削減。改定をしない対応を国に求めるべき。所見は。

答 国の財政支援の増加も含め国の動向を注視する。

④マイナンバーカードの取得は法律で「任意」。カードへの一体化は事実上の強制である。所見は。

答 カード取得により利便性につながる。

⑤栗東健康運動公園は市の財政、集客など課題がある。熟慮が必要。所見は。

答 多様な交流、日常的な憩いを楽しめる場にしたい。

⑥保育所は「民間」でなく「公立」を堅持すべきである。

答 公立保育所の機能、役割を踏まえ、選択肢として公立保育所も必要。

⑦学校給食の完全5日制の来年度からの実施を。

答 令和5年度の可能な限り早い段階での実施を進める。

⑧「行政のスリム化」は職員の削減も含まれるのではないか。

答 職員の削減ではない。

⑨同和対策事業は真に一般施策にするべき。

答 部落差別（同和問題）解決に向け事業を推進していく。



▲学校給食を支える給食センター

○は代表者 ●は質問者

○●片岡勝哉 武村 賞

理 会

- 質問事項** ①環境センターの更新の方向性 ②健康運動公園は市民のために

①環境センターは、令和9年度を目前に新ごみ処理施設の整備が必要であることは、更新時から判っていたことである。新たなところで新築工事されるのか、現施設で基幹改良工事されるのか、現位置で新設工事されるのか。

答 現在、二次選定まで終わっている。選定結果を踏まえ、今後お示ししたい。



▲栗東市環境センター

②健康運動公園は、昭和63年に計画されたが、市の財政状況等が厳しいことから、事業が停止している。市民の多くは憩いの公園（子ども広場、軽スポーツ

広場、散策コース等）を求めておられる。市外の人を呼び込むための「馬」より、市内に住んでいる「ひと」を大切にすべきと考えるが、なぜこのタイミングで健康運動公園用地にホースパークを設置する必要があるのか。

答 交流人口が県下においても下位である本市の状況で、市民の憩いの場づくりと人を呼び込める施策を早急に講じる必要があるとの認識であり、引退競走馬の活用については、JRAからの整備にかかる負担や支援を得るなかで早期に栗東のランドマークともいふべき施設の整備を進めたい。

②自治体の本分に立ちかえり、ホースパークは再考されたい。

答 交流人口の増加に向けた公園づくりに引退競走馬を活用することは、大変重要だと考えている。

個人質問

ここが聴きたい 市政を問う

12月13日に、7人が質問しました。
質問と答弁の要旨をお知らせいたします。
なお、紙面の都合上、主な質問のみ掲載しています。すべての質問については、YouTubeにて本会議の様子を視聴できますので、ぜひご覧ください。

問 …議員の質問
答 …市からの回答
意 …議員の意見

二次元コードで
質問の録画映像が
見られます▶



議席番号	質問者	質問事項
11	林 好男	学校給食におけるこれからの課題について
12	田村 隆光	不登校児童生徒への学びの環境整備の充実を
3	川嶋 恵	切れ目のない妊娠・出産、子育て支援へ向けて
15	上田 忠博	不登校の児童生徒への取り組み支援について
5	西田 聡	子どもの生活の充実に向けた連携について
2	伊吹 裕	より利用しやすい生活保護制度について
		学校図書館整備計画について
6	梶原 美保	より活発な市民活動の場を (1) 文化芸術活動への支援について (2) コミュニティセンターについて



学校給食は食育の「要」

林 好男 議員



問 全日給食を実施する上での意義と時期は。

答 学校給食は、安全安心でおいしい給食の提供により、子どもたちの心身の成長の一助になり、週5日に拡大することと近年、生活形態が多様化している保護者世帯の負担軽減につながる。時期については令和5年度の可能な限り早い段階での実施を進めていく。

問 飲み残し、食べ残しがあり、廃棄すると聞いているが、日々の牛乳摂取状況、給食の残さい状況は把握しているのか。

答 牛乳については学校現場での対応であり、数値は把握していないが、中学生生徒に残す割合が多いと感じる。残さい率は平均で小学校10・6%、中学校20%である。

問 残さない取り組みや指導はされているのか。

答 毎月「給食だより」の中で、牛乳摂取の必要性や、体調管理をする上で、栄養バランスの取れた食事は大切であり、好き嫌いせずに食べることの重要性を啓発している。また栄養教諭が学校に出向き、食に関する指導を行っている。



不登校児童生徒への学びの環境整備の充実

田村 隆光 議員



問 小中学校の不登校状態にある直近の児童生徒数と前年比は。

答 令和3年度において年間30日以上欠席した不登校児童生徒数は小学校で62名で13倍、中学校114名で1.6倍となっている。

問 毎日、学校には行くけど短時間登校や別室登校などは不登校としてカウントされず「隠れ不登校」とも言われている。その実態は。

答 不適応、不登校として支援の必要な児童生徒は、今年度10月末で小学校106名、中学校114名を把握している。

問 教育機会確保法の施行によりフリースクールや家庭など、学校以外の多様な居場所を選択できるようになった。児童・生徒が通うフリースクール等と行政、教育現場との連携実態と今後の対応は。

答 フリースクールに通っている実態は把握しており通所施設と保護者、学校とが連携して出席状況や学習状況については共通理解をしている。また、行政としても他市との情報交換や民間施設への見学も実施し、こういった支援が必要なのか検討していきたい。



切れ目のない妊娠・出産、子育て支援へ向けて

川嶋 恵 議員



問 国が創設した「出産・子育て応援交付金」では、妊娠から出産・産後、育児期に、全ての妊婦や子育て家庭に寄り添った「伴走型相談支援」を実施することになったが、本市の取り組みは。

答 妊娠届出時に保健師や助産師による面談を継続し、8か月時点で希望者への面談を行う。出産後の保健師・助産師による面談と、今後は地域子育て支援センターや児童館など、保護者が相談に行きやすい場所での面談を考える。妊娠時から出産・子育てまで「切れ目のない相談支援」となるよう、関係部課と検討する。

問 子育てをしている方に、安心感や満足感が得られるように、子育て支援事業のプロジェクトや、子育ての事業にネーミングをつけてはどうか。整理・整備が必要なのは。

答 情報が分かりやすく入手できるように工夫をする。

問 ファミリーサポート事業の取り組みは。

答 制度設計や手法について検討する。



不登校児童生徒への取り組み支援

上田 忠博 議員

問 年間30日以上長期欠席の児童生徒数は。

答 令和3年度諸課題調査では、小学校118名、中学校142名と把握している。

問 不登校の実態把握に基づく改善への基本的な考え、取り組みを問う。

答 不登校の前段階で子ども達のサインに教員が気づき初期対応が大切である。学校に来にくくなった子どもに放課後登校や別室登校など学校との関係が切れないうちに対応している。

問 ^{*1}SSW配置は生徒との関り、有能な人材確保等の観点でも拡充が必要ではないか。

答 SSW1名はここ数年配置が7月以降になっている。今後は、国、県にも追加加配について要望していく。

問 不登校特別校の認識と所見を問う。

答 不登校児童生徒に対し課題解決の方策の一つである。県内各市町の動きも視野に入れながら注視していく。

問 不登校特別校の設置を検討すべき。

答 公立で設置をする場合、教員の人員費は国、県での負担だが、施設整備や運営経費等は市の負担となる。また、^{*2}SC、SSW、支援員等複数名の配置が必要であり、財源、人材確保など課題がある。



^{*1} SSW：スクールソーシャルワーカー
^{*2} SC：スクールカウンセラー

西田 聡 議員

子どもの生活の充実に向けた連携



問 地域や保護者から信頼され、「学校が楽しい100%」へ近づく連携はどのように考えているか。

答 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどと情報共有、連携を強め、子どもや保護者、地域から信頼されるよう努めている。

問 学校生活に満足していない児童生徒の、その主だった要因はどんなことであるか。

答 学習面での困難さと人間関係があげられる。また、基本的な生活習慣や学習習慣が身につけていないことも要因の一つである。

問 学校とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携で、改善がみられるといった事例は。

答 カウンセリングで気持ちが安定したケースや引きこもっていた子どもが外出でき、表情が明るくなったケースがある。

問 子どもの潜在的なSOSをAIでキャッチし早期支援につなげている事例がある。見解を伺う。

答 今後、活用することも含め、研究を見守っていく。



▲大宝小学校

伊吹 裕 議員

より利用しやすい生活保護制度



問 生活保護のしおりが改定された。具体的な改定点を問う。

答 より分かりやすくするため、よくある質問を質疑応答形式で解説するなど工夫をした。

問 現在の扶養照会の運用はどのように行われているのか。注意している点は。

答 令和3年の国からの通知に基づき、相談の段階や保護申請の中で必要な照会をしないように注意を図るとともに、当事者の気持ちを最大限尊重した丁寧な聞き取りを行っている。

問 生活保護制度には、繰り返し返されてきたネガティブな批判やイメージ付けにより、利用をためらってしまう場面がある。情報提供や啓発の改善点は。

答 ホームページでの情報の提供や啓発を行っている。

学校図書館整備計画

問 国で第6次学校図書館整備計画が取り組まれている。文部科学省が示している交付税算定額の試算方法を用いての本市の算定額はいくらか。

答 本市の小・中学校の学級数等で算出すると、26226万1000円となる。



梶原 美保 議員

積極的に文化芸術への支援を



問 市民主体の文化イベント等、コロナ禍においても積極的に活動される文化芸術団体に対する支援策は。

答 活動の場や機会の提供、情報収集や発信等の支援、また文化協会や音楽振興会等を通じて活動補助金の支援を行っている。

問 文化芸術に特化した本市ならではのまちづくりの取り組みは。

答 ささら ジュニア オークストラ や創造ミュージカル等を実施し、若手世代の愛着の醸成、本市の魅力発信につなげている。



▲ささらで開催された「オヤジ達の文化祭」での市民バンド演奏

だれでも利用しやすいコミュニティセンターに

問 2階建てで昇降装置が撤去され久しい施設があるが、高齢者や障がい者等の社会参加を促すためにも改修・改築等の計画は。

答 緊急性や利用者の安全性・利便性を踏まえ、総合的な優先度を見ながら年次的に実施していく。

問 コミュニティセンター内に気軽に小休憩できる、ロビーやサロンのような交流のスペースは設けられないか。

答 全体のレイアウトの工夫などで限られたスペースを有効活用し、市民の集いやすい施設となるよう、取り組みについて協議する。

委員会活動レポート

常任委員会の視察研修で、先進地から学びました

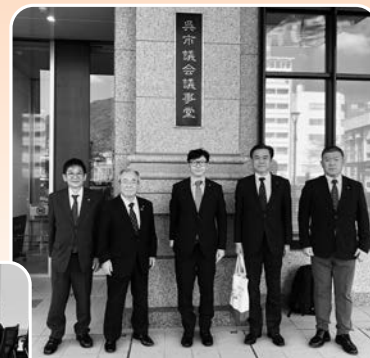
研修をいかし、今後、栗東のよりよいまちづくりに向けて取り組んでいきます。

総務常任委員会

11月8日と9日の二日間で、いずれも、DX(※)推進の先進地で研修しました。8日は、「スマートシティ構想の中での市民サービス向上のためのDX推進」をテーマに、広島県尾道市を視察。

9日は、「子育てに関連する、オンライン申請等のDX推進」をテーマに広島県呉市を視察しました。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、さまざまな生活の場面でデジタル技術を浸透させること。



環境建設常任委員会

11月14日と15日の二日間で視察研修を行いました。14日は、『棚田オーナー制度について』石川県輪島市へ向かい世界農業遺産の白米千枚田を視察しました。



15日は、『農産物出荷組合「おおの産直の会」について』福井県大野市の指定管理施設道の駅「越前おおの荒島の郷」を視察しました。

文教福祉常任委員会

11月14日と15日の二日間で行政視察を行いました。

14日は、「買い物リハビリ」について愛知県長久手市を、「不登校特別校の取り組み」について神奈川県大和市を視察しました。



また、15日は、高齢者の居場所づくりなど健康都市をめざす大和市において、図書館をはじめとする複合施設「文化創造拠点シリウス」を視察しました。

意見募集

栗東市議会の個人情報の保護に関する条例(案)

この条例は議会における個人情報の適切な取扱いに関して必要な事項を定め、議会が保有する個人情報の開示等を求める個人の権利を明らかにし、議会の事務適正かつ円滑な運営、及び個人の権利利益を保護するものです。この条例(案)に対し、市民皆さんの意見を募集します。

- 募集期間 令和5年2月6日(月)～2月20日(月)
- 資料の閲覧場所 議会事務局(市役所4階)

会議は傍聴が
できます



本会議や委員会では、私たちの生活に関わる大切なことが審議されています。傍聴をご希望の方は、本会議などの会議開催日に市役所4階 議会事務局までお越しください。

① 議会事務局(市役所4階)で受付を行う

名前・住所などを記入
します



② 傍聴者入口から入る



③ 傍聴席に座り傍聴する



傍聴にお越しください

- 本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。
- 開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。
 - 日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承ください。
 - 議場には車椅子を利用されている方の傍聴者席を設置しています。
 - 手話通訳者の配置をご希望の方は事前に議会事務局へ連絡をお願いします。
 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用などの対策にご理解とご協力をお願いします。
- 問い合わせ 議会事務局(市役所4階)
TEL:551-0137 FAX:551-0146 ✉:gikai@city.ritto.lg.jp

3月定例会の予定 (土・日・祝は除く)

2月27日	本会議(議案上程等)
3月6～7日	本会議(代表質問)
7～9日	本会議(個人質問)
10～17日	各常任委員会
23日	本会議(委員長報告・採決)

これまでの議会の様子は、YouTubeの動画でご覧いただけます。栗東市のホームページにリンクがありますので、ご参照ください。

二次元コード
で録画映像が
見られます▶



編集後記

まだまだ寒さが厳しいですが、このところ日が長くなったように思えます。12月定例会は、竹村市長が就任され、はじめての議会です。所信に対して、各会派の代表質問もありました。よりよい未来を切り開くために、多くの議論が交わされました。広報編集特別委員会は、委員長、編集委員のメンバーの変更がありましたが、限られた紙面のなかで、お伝えできるよう、工夫を重ね編集に取り組みさせていただきました。コロナ禍を乗り越え、世界に平和の春が一日も早くおとずれますように。

川嶋



議会広報編集(委員長) 林 好男 (副委員長) 川嶋 恵
特別委員会(委員) 片岡 勝哉 / 青木 千尋 / 里内 英幸 / 梶原 美保